

当事者 部会

部会長 成竹精一 副部会長 長岡純人 中村剛 川崎昭仁

運営委員会担当者 池田 純 宮尾千恵子 ケアマネ連絡会担当者 小林千香 小山多恵子

長野市障害福祉課担当者 小林栄一 松平純子 酒井ちひろ

1 年間テーマ

基幹相談支援センターについて/手話言語条例について/ふくしネットフェスタへの参加/障害当事者の選挙について/防災対策について

2 部会等の開催状況

日時		会場	人数 (人)	部会のテーマ	主な内容
月	日				
5	30	Web	10人	執行部	今年度の活動計画
7	4	長野市障害者福祉センター	21人	今年度の取り組みについて 基幹相談支援センター	・今年度の部会内容の検討 ・基幹相談支援センターの役割について長野市からの説明
8	22	長野市障害者福祉センター	14人	手話言語条例について ふくしネットフェスタについて	・手話言語条例についての学習会 ・ふくしネットフェスタへの当事者部会の参加について内容の検討
10	10	Web	10人	執行部	・ふくしネットフェスタ参加内容の確認
10	26	長野市役所	10人	ふくしネットフェスタ	・当事者団体の紹介 ・当事者の生活の紹介(動画) ・ほっこり話の掲示
2	20	長野市障害者福祉センター	12人	1年間活動の振り返り	・当事者部会活動の振り返り ・来年度の活動内容やりたいことと執行部について

3 機関紙、冊子、アンケート調査・行事など報告書

令和5年度 事業報告

4 課題について

(1)主な検討課題

- ・長野市障害者基本計画、障害者差別解消法施行後の動向について
- ・長野県「障がい者共生社会づくり条例」の動向について
- ・障害の理解・啓発、他障害の理解。そのための情報共有（特にほっこり事例）
- ・障害当事者の防災対策
- ・ふくしネットフェスタへの積極的参加と当事者部会の周知と参加呼びかけ
- ・当事者同士の理解と交流をはかるための交流会開催

(2)検討の目的と結果(現状)

・7月4日の当事者部会「基幹相談支援センターについて」をテーマに開催した。現時点までの状況を市側から説明もしていただき、これまでの検討の過程の中で当事者の意見を反映する機会が薄れていった経緯など質問させていただいた。さらにこれからも障がい当事者の意見を無視することなく進めていただくことを要望した。

・8月22日の当事者部会では、「手話言語条例について」聴覚障がい者協会の方々から説明していただき、長野市の条例として成立を目指している切実な思いを共有することができた。その後この条例に関しては市長主催の勉強会も開かれるなど少しずつであるが、進展している。

・ふくしネットフェスタでは、本年度も当事者部会の展示をすることとなった。当初の予定より一日早く、2日間展示することになったが、数年の間に部会の中で共有してきた「ほっこり話」をまとめて展示し、多くの皆様に見ていただくことができよかった。「ほっこり話」を冊子にまとめてほしいという要望も聞かれ、今後も様々な事例を部会でも集めていけるようにしたい。

・フェスタの前後から、さまざまな事情により部会を開催することができなかった。執行部会はほぼ予定通りに開くことができただけに、残念であった。

(3)引き続き検討が必要とされる課題

・2024年元旦に能登半島地震があり、2019年の台風災害が起こった当時感じていた防災意識が薄れていたことにも気づかされ、あらためて障がい当事者の防災については検討を続けていく必要があることを痛感した。

・「障害の理解・啓発、他障害の理解」について、特に精神障害について、制度上の格差が埋まらない。部会でもより積極的に理解し共感できるような取り組みをしてきたい。

・「長野県「障がい者共生社会づくり条例」の動向について、本年度調整委員会が1度も開かれていない。また条例の説明のためのリーフレットの内容も疑問点がある。など、当事者部会としても現況を確認していかなければならないと感じる。

令和5年度 事業報告

- ・障害者権利条約の総括所見について、勉強会を開き理解普及を目指していくことが必要。

(4)部会の運営体制について

- ・現在の運営体制になって、3年が過ぎたが、執行部会と部会の参加者・人数があまり変わらない。平日の昼間の開催だけだと参加できる人が限られる。土日の開催や Web 会議との併用など参加者を少しでも増やす方法を考えていく必要性を感じる。

5 総括(1年間を振り返って)

- ・本年度3回しか対面での部会を開催できなかった。実際に対面で部会を開いてみると、Web 会議よりも内容の濃い会議になる実感がある。
- ・2月の最後の部会で会員の皆様から多くの検討すべき議題が提案された。来年度それらの議題について確実に部会を開催し、検討していくことが当事者部会の存在意義だと再認識させられた。